

授業科目名	現代ビジネス論 Introduction to Modern Business Theory	教員名	桑原 重雄
		Eメールアドレス	skuwabara@miu.ac.jp
授業形態	プレゼンテーション, ディスカッション	オフィスアワー	授業終了後随時 (1-327 研究室)
科目番号	IBM202	担当形態	オムニバス
単位数	2	配当年次	2年 (前期)
アクティブ・ラーニング	2-(3) プレゼンテーション 4-(2) ディスカッション 4-(4) 事例研究	卒業要件	必須 (IBM/HTMコース)
一般目標	<p>受講生が就職を希望する業界・企業に関する研究・発表を行う。 業界・企業研究を通して業界・企業への幅広い知識と、プレゼンテーションを行うことでビジネス実務において必要とされる知識・技術の習得を目指す。 本講義では、受講生が選択した業界・企業を経営戦略入門とマーケティングで学んだ知識をもとに研究し、プレゼンテーションする。プレゼンテーション資料の作成・プレゼンテーション技術の取得も講義目的とする。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・業界・企業の知識 (経営戦略やマーケティング) ・仕事への理解と今後のキャリア形成。 ・プレゼンテーションに必要な知識・技術 		
授業の概要	業界・企業研究成果をプレゼンテーションし、講師・学生とのディスカッションを行う。		
ディプロマ・ポリシーとの関係	ディプロマポリシーのうち、「1:クリティカル・シンキングをベースとした高度な思考能力を身につけている。」「2:各コースの教育を通じて基礎及び応用知識を身につけ、活用する能力を身につけている。」「3:課題発見及び問題解決能力を身につけている。」「4:情報技術活用能力を身につけている。」に関連		
履修条件・注意事項	IBM101:マーケティング, IBM104:ビジネス実務総論2, IBM105:経営戦略入門の単位取得者		
授業計画	NO	授業の内容	授業外の学習課題 (時間)
	1	オリエンテーション 授業内容, 進め方, 到達目標, 成績評価方法の説明	事前:卒業後のキャリア形成について考察 (90分)
	2	業界・企業研究成果報告, ディスカッション	事前:業界研究と質問を考察 (90分)
	3	業界・企業研究成果報告, ディスカッション	事前:業界研究と質問を考察 (90分)
	4	業界・企業研究成果報告, ディスカッション	事前:業界研究と質問を考察 (90分)
	5	業界・企業研究成果報告, ディスカッション	事前:業界研究と質問を考察 (90分)
	6	業界・企業研究成果報告, ディスカッション	事前:業界研究と質問を考察 (90分)
	7	業界・企業研究成果報告, ディスカッション	事前:業界研究と質問を考察 (90分)
	8	業界・企業研究成果報告, ディスカッション	事前:業界研究と質問を考察 (90分)
	9	業界・企業研究成果報告, ディスカッション	事前:業界研究と質問を考察 (90分)

	10	業界・企業研究成果報告, ディスカッション					事前：業界研究と質問を考察 (90分)	
	11	業界・企業研究成果報告, ディスカッション					事前：業界研究と質問を考察 (90分)	
	12	業界・企業研究成果報告, ディスカッション					事前：業界研究と質問を考察 (90分)	
	13	業界・企業研究成果報告, ディスカッション					事前：業界研究と質問を考察 (90分)	
	14	業界・企業研究成果報告, ディスカッション					事前：業界研究と質問を考察 (90分)	
	15	業界・企業研究成果報告, ディスカッション 講義全体のまとめと振り返り					事前：講義のまとめ, 振り返り (90分)	
学生に対する 評価	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参 加・意欲	合計	
				40%	50%	10%	100%	
時間外の学習 について	事前学習：90分 事後学習：90分 ・事前学習の共通事項：業界・企業研究成果をプレゼン資料にまとめる。 ・事後学習の共通事項：プレゼンテーション, ディスカッションの結果から, 資料の修正と研究報告書の作成を行う。							
テキスト								
参考書・ 参考資料等	<p>業界研究については以下の参考書を推奨する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋経済新報社 (2022) 『「会社四季報」業界地図 2023年版』東洋経済新報社 ・日経BP (2022) 『日経業界地図 2023年版』日経BP 日本経済新聞出版 <p>プレゼンテーション資料の作成とプレゼンテーションについては以下の参考書を推奨する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒巻基文 (2013) 『社会人のための伝える力』産業能率大学出版部 <p>レポート作成については, 下記参考書を査読して作成すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑田てるみ (2021) 『学生のレポート・論文作成トレーニング 改訂版』実況出版 ・井下千以子 (2019) 『思考を鍛えるレポート・論文作成法』慶應義塾大学出版会 							